

1. コースイン・ピットイン時の注意

- 1) コースインの際、コース中央に引かれている白線を越えてはならず、2コーナー過ぎまで右端走行すること
- 2) ピットレーンの制限速度は60km/hとする。 ※違反した場合は罰則を科す。
- 3) ピットインするライダーは130R手前からコース右端を走行し、手を挙げるなどして後方に十分アピールした上で、安全を確認してピットインすること。
- 4) 東ショートカットの使用は認めない。

2. フラッグ等について

ライダーは掲示されるフラッグ・ライトパネルを確認する義務がある。 ※違反した場合は罰則を科す。
ストレート上でもフラッグやボードの見落としがないように注意すること。

3. 公式予選について

- 1) 予選方式は計時予選とする。
- 2) 走行時間は各クラス20分間とする。
- 3) コースインは各ピットより可能とする。

4. 決勝レースについて

- 1) ウェット宣言時、決勝周回数を2周減算する。ウェット宣言時は自動的にリアセーフティライトの点灯が義務付けられる。
- 2) サイティングラップからグリッドに戻ったライダーは、オフィシャルが赤旗2本を静止提示している場所で一旦停止しエンジンを切らなければならない。その後各競技車両をライダーまたはチーム員が押し歩いて指定グリッドに着くこと。その際にライダーは降車しても乗車したままグリッド位置まで移動しても良い。
- 3) グリッド上においてタイヤウォーマーのためのジェネレーター(蓄電式含む)はマシン1台につき1基とし、自身の車両近くに設置すること。そのジェネレーター(蓄電式含む)は、1人で持ち運び可能なハンディタイプ(市販状態でジェネレーターの取っ手が一つのもの)とする。
- 4) ウォームアップラップは"1周"行う。
- 5) ウォームアップラップ開始1分間ボード提示された時点でエンジン始動を行う。
押しがけの場合はエンジン始動後正規グリッドへ押し戻すこと。
- 6) ウォームアップラップ中、ピットインロード入口までにオフィシャルカーの前に入れなかったライダーは、ピットインを行いピットスタートすること。

5. スタートについて

- 1) スターティンググリッド位置は、各自の責任をもって確実に把握すること。
誤ったグリッドにつき、自力で正規のグリッドに戻れないときにはスタートデイレイドとする場合がある。
- 2) レッドライトが消灯された後で、エンジンがストールした場合、オフィシャルの指示があった時点でエンジン始動を試みる行為を中止し、指示に従って速やかにマシンをピット作業エリアに押しに行かなければならない。
【MFJ国内競技規則P.71 付則4 17-4-10-3】
セルスターターが装着されている車両の場合でも、エンジン始動出来ない場合は同様の扱いとする。
- 3) ピット作業エリアでは当該ライダーのメカニックがエンジンを始動させるために援助することが許可され、ピットスタートとなる。

2024 鈴鹿サンデーロードレース第2戦

- 4) スタート時の安全性を脅かすようなトラブルが発生した場合はスタートデイレイドとする。その際はレッドライトが点灯したまま赤旗振動が提示と「スタートデイレイド」のボードがスタートラインのフラッグ台(0.5P)にて提示される。エンジンは原則停止させない。スタート手順は**30秒前**からの再開になる。**【2024年変更事項】**
追加のウォームアップラップを1周行い、レースは1周減算となる。
- 5) 速やかなスタート手順が難しいと判断された場合はスタートラインのフラッグ台(0.5P)から「**エンジンストップボード**」が提示され、全車ピット前作業エリアに戻される。**この場合、再開手順はクイックリスタートで行われる。【2024年変更事項】**
- 6) **スタートデイレイドの原因となったライダーとマシンはピット作業エリアに戻される。**
追加のウォームアップラップへの走行は可能だが、ピットインを行いピットスタートすること。
- 7) スタート違反と判断された場合、**ライドスルーペナルティ**が科される。ペナルティは「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードが**コントロールラインのフラッグ台(0P)、バックストレート(14.5P)にてライダーに提示される。**また、罰則の通知は当該ライダーのチームにもボードにて通達する。
最終周回等レース終了までに罰則が消化できない場合は、レース結果にタイム加算される場合もある。

6.赤旗中断されたレースの再スタートについて

競技結果が2/3未満の場合の再スタートについて、下記手順にて進行される。

- 1) 赤旗中断によりライダーがピットイン後、競技監督よりサイティングラップスタート時刻が発表される。
- 2) サイティングラップ開始
ピットレーン出口は、サイティングラップ開始から**約30秒間解放される。**
サイティングラップに参加できないライダーは、ピットレーンからウォームアップラップを開始し、正規のグリッドにつくことができる。但し、車両を押してグリッドに移動することは認められない。
グリッド整列後、エンジンは停止しない。また、ライダー1名につき1名のピットクルー(工具を持たず)がグリッド位置を教えるために立ち入りすることは許可される。
- 3) ウォームアップラップ開始30秒前ボードが提示される。この時点でグリッドへ着いていないライダーはピットスタートとなる。
- 4) 以降通常のスタート手順

7.決勝レース終了後

- 1) 上位ライダーは車両保管を行う。
- 2) 車両保管場所の車検場までオフィシャルが誘導する。
- 3) 暫定表彰式は**ポディウム**にて行う。

8.使用燃料について

- 1) 各銘柄のガソリンを混ぜて使用してはならない。
- 2) **前回使用したガソリンが混ざることのないよう注意すること。**

9.走行にあたっての注意事項—下記項目について確認・徹底をすること。

- 1) スロー走行を余儀なくされた場合、レコードラインを避け、後方に注意し、極力右側を走行すること。
- 2) 重大なマシントラブル発生時、速やかにコース外グリーン奥の安全な場所へマシンを止めること。
- 3) 転倒したらすぐに安全な場所へ退避すること。負傷で退避が困難な場合、大きくアピールすること。
- 4) 可能な限り、オフィシャルの車両撤去に協力すること。
- 5) 転倒、オーバーラン後のコース復帰時は、必ず後方確認を行うこと。
- 6) オイル旗提示時は路面状況を確認すること。

2024 鈴鹿サンデーロードレース第2戦

- 7) 他の車両を追い越す際は、接触のないようにすること。
基本的にレコードラインを走行する者に優先権があり、抜く側は追い越しのリスクを認識しておくこと。
①追い越した後、レコードラインに戻る際は、抜いた車両のスペースを意識しておくこと。
②走行ラインを譲る際は、追突事故の原因となる為、急なライン変更や、急減速をしないこと。
- 8) 転倒等により走行前にドクターチェックを義務付けられたライダーは、時間内に必ずチェックを受けること。
特に脳震盪症状があったライダーは競技復帰最初の走行前に必ず受けること。
ドクターチェックで出走不可と判断されたライダーは、リタイヤ扱いとなる。
- 9) **特に、チェッカー後に接触・追突する事象が発生しているため、チェッカーを受けた直後は、急激なスローダウンや進路変更をしないこと。**また、ダブルチェッカーにも十分注意すること。

10.その他

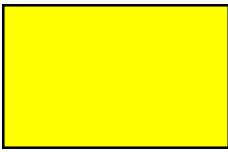

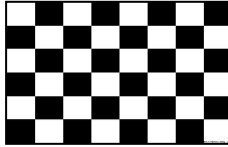
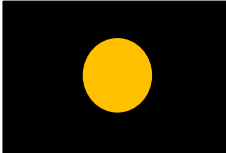



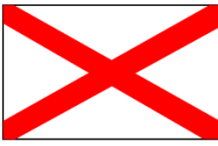
- 1) 【決勝レースへのマーキング部品変更期限】
変更申請期限 … 当該クラスの公式予選終了後1時間以内 ※期限以降の変更は不可とする。
再車検期限 … タイムテーブルで定められた当該クラスのサイティングラップ開始30分前
- 2) ウェイティングの資格を有する者は、決勝レース出場願い書（嘆願書）を提出した者の中で**総合予選結果での上位3名まで**とする。なお、提出期限は、**暫定予選結果表が発表されてから30分以内**とする。
- 3) 近年、パドック内での事故が多く発生しており、二輪車（バイク・スクーター等含む）を使用する場合は歩行者に注意し、ヘルメットを着用の上、徐行して走行すること。
- 4) 脳震盪について
脳震盪は頭部への直接または間接的な衝撃によって起こる脳機能障害のこと言う。特に短期間に二度の脳震盪を起こすことは非常に重大な障害をもたらす恐れがあり、また、症状を抱えたまま走行することは他のライダーに危険を及ぼす恐れがあるため、脳震盪が疑われる場合、医療機関で受診すること。
- 5) マスクの着用は参加者および同伴者個人の判断が基本とするが、必要に応じ着用できるようマスクを携帯すること。
- 6) 転倒もしくは負傷したライダーは、迅速かつ的確なレスキュー活動の為に、**メディカルパスポートをいつでも提出できるよう準備しておくこと。**

以上

2024 鈴鹿サンデーロードレース第2戦

・参考資料

フラッグ/ライトパネルについて

	<p>【黄旗 1 本】 振動表示 表示ポスト前方でトラブルが発生。 減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。</p>		<p>【黄旗 2 本】 振動表示 表示ポスト前方コース上にトラブルが発生。 減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。</p>
	<p>【赤旗】 走行中断。減速し、ピットに戻らなければならない。</p>		<p>【オイル旗】 コース上が滑りやすい状態の時、提示される。 (オイル漏れ、落下物なども含む。)</p>
	<p>【チェッカー】 走行終了。速度を落とし、その周でピットインをすること。 先頭でチェッカーを受けた車両が通過するタイミングでコントロールラインのフラッグ台(OP)及びインフォメーションパネル(スタートライン上)の計 2 箇所にてチェッカーを提示。 ダブルチェッカー防止のため、ストレート走行中でも必ずフラッグ台を確認し、見落とさないこと。 ※チェッカーフラッグ提示後、各ポストで黄旗が静止表示される。</p>	 	<p>【ブラックホール+ゼッケンボード】 ピットまで戻らず速やかにコースアウトし、最寄りの安全な場所に車両を止めること。 ※大量のオイル漏れ等、危険を及ぼす恐れのある競技車両が発見された場合、即当該ライダーに警告するため、旗のみ表示を行う場合がある。</p>
	<p>【白旗】 救急車等の介入車両があり、この介入車両を追い越すまで他のライダーを追い越す事は禁止される。</p>		<p>【黒旗+ゼッケンボード】 当該車両は直ちにピットに戻り、オフィシャルの指示を受けること。</p>
	<p>【青旗】 後方よりベースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動表示にて提示される。 決勝レース時、コントロールラインのフラッグ台(OP)にて、チェッカー旗と同時に提示された場合、トップのライダーにはレース終了を伝え、トップの直前を走行しているライダーにはもう 1 周する事を伝える。</p>		<p>【レッドクロス】 コース上の表示ポスト付近において、雨が降り始めたことを示す。 この雨が路面状況に影響を及ぼしている可能性がある。</p>

ライトパネル表示例

